

平成 25 年 1 月 23 日

各 位

株式会社CFキャピタル
代表取締役 板橋 光一

株式会社メディビックグループに対する株主提案に関するお知らせ

当社は、当社が株式を保有する株式会社メディビックグループ（本社：東京都千代田区、代表取締役：橋本 康弘、東証マザーズ 2369）に対し、平成 25 年 3 月開催予定の同社の第 13 回定時株主総会における取締役及び監査役選任に関する株主提案を平成 25 年 1 月 23 日付で提出いたしました。

提案の内容及び提案の理由につきましては、「株主提案書」をご参照ください。

平成25年1月23日

〒102-8578

東京都千代田区紀尾井町4-1 ビジネスコート10階
株式会社メディビックグループ
代表取締役 橋本 康弘 殿

〒107-0052

東京都港区赤坂1丁目3番3号 T-FRONTビル6階

中田総合法律事務所

TEL 03-6277-7741 FAX 03-6277-7743

貴社株主 株式会社CFキャピタル代理人

弁護士 中田 康一

弁護士 谷川 徹三

弁護士 畑田 正彦



株主提案書

上記の貴社株主は、会社法303条、305条に基づき、下記議題及び議案を本年3月開催予定の第13回定時株主総会の決議事項とすること、並びに下記議案の要領を当該株主総会の招集通知に記載または記録し、株主に通知することを請求します。

なお、代理人の代理権を証明する書類、個別株主通知の申出受付票につきましては、別途貴社宛郵送します。

記

第1 議題及び議案

1 取締役4名選任の件

(候補者) 小野 稔
三坂 大作
疋田 賢司
橋本 康弘

2 監査役1名選任の件

(候補者) 鈴木 啓祐

第2 議案の要領

別紙のとおり (全6頁)

以上

(別 紙) 議案の要領

1 取締役4名選任の件

(1) 提案の内容

次の候補者4名を取締役に選任する。

なお、小野稔氏、三坂大作氏及び足田賢司氏からは、取締役就任の内諾を得ております。

候補者 番号	氏 名 (生年月日)	略歴、貴社における地位及び担当、 重要な兼職の状況		所有す る貴社 株式の 数
1	小野 稔 (昭和27年4月2日生)	昭和 51 年 3 月	昭和大学薬学部薬学科卒業	0 株
		昭和 51 年 4 月	東京大学医学部附属病院薬剤部研究生	
		昭和 52 年 4 月	昭和大学薬学部薬品物理化学教室研究員	
		昭和 52 年 7 月	岡山大学医学部第一外科学教室内地留学	
		昭和 53 年 5 月	岡山大学医学部第一外科学教室入局	
		昭和 61 年 12 月	学位 医学博士 (岡山大学)	
		昭和 63 年 12 月	Tampa Bay Research Institute, FL, U.S.A. 博士研究員	
		平成 3 年 11 月	国立小児医療研究センター免疫研究室研 究員	
		平成 7 年 4 月	化研生薬株式会社開発研究部長・開発研 究部長	
		平成 11 年 2 月	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 外国派遣研究員 Salem University, U.S.A.	
		平成 11 年 7 月	Salem Inter. University, Bioscience, WV, U.S.A. 客員教授	
		平成 13 年 2 月	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 会報編集委員長	
		平成 13 年 4 月	杏林大学医学部感染症学講座非常勤講師	
		平成 15 年 10 月	東京理科大学総合研究所客員研究員	
		平成 16 年 1 月	株式会社エフェクター細胞研究所 (現：株式会社 ECI) 事業開発部長	
		平成 17 年 4 月	東京理科大学総合研究所客員教授	

候補者 番号	氏 名 (生年月日)	略歴, 貴社における地位及び担当, 重要な兼職の状況		所有す る貴社 株式の 数
		平成 18 年 9 月 平成 20 年 7 月 平成 20 年 8 月 平成 23 年 1 月 平成 23 年 8 月	株式会社エフェクター細胞研究所 (現:株式会社 ECI) 執行役員事業開発 部長 株式会社セルテ取締役 株式会社 ECI 取締役兼事業開発本部長 COO 株式会社セルテ代表取締役 株式会社 ECI 代表取締役社長 CEO <所属学会> ・日本免疫学会 ・日本癌学会 ・日本バイオセラピー学会 ・日本生体防御学会 ・日本癌治療学会 ・日本炎症・再生医学会 ・日本薬物動態学会 ・日独原虫病協会 ・日本化学療法学会 ・日本臨床薬理学会 ・日本薬理学会	
2	三坂 大作 (昭和 36 年 8 月 23 日生)	昭和 60 年 3 月 昭和 60 年 4 月 平成 3 年 1 月 平成 10 年 8 月 平成 13 年 3 月	東京大学法学部卒業 株式会社三菱銀行 (現:株式会社三菱東 京 UFJ 銀行) 入社 株式会社空波 (現:株式会社プラネス) 設立 代表取締役社長 株式会社フィナンテック取締役 シニア コンサルタント 株式会社プラネス代表取締役 代表コン サルタント (現任)	0 株
3	疋田 賢司 (昭和 40 年 9 月 25 日生)	昭和 63 年 3 月 昭和 63 年 4 月 平成 11 年 4 月 平成 16 年 6 月 平成 23 年 6 月	成蹊大学法学部卒業 三井リース事業株式会社入社 株式会社セント・グランデ入社 株式会社クオリケーション代表取締役 株式会社 QC アセット代表取締役 (現任)	0 株

候補者 番号	氏 名 (生年月日)	略歴, 貴社における地位及び担当, 重要な兼職の状況		所有す る貴社 株式の 数
4	橋本 康弘 (昭和31年3月1日生)	昭和 58 年 7 月	ハーバード大学医学部研究員	2,232,500 株
		昭和 61 年 7 月	ペンシルバニア大学医学病理学部助教 授・准教授	
		平成 4 年 5 月	日本シンテックス株式会社 (現: 中外製 薬株式会社) 免疫研究所所長	
		平成 5 年 4 月	東北大学加齢医学研究所客員講師 筑波大学客員助教授	
		平成 7 年 1 月	ロシュバイオサイエンス バイオテクノロジー一部部長	
		平成 7 年 4 月	東京理科大学客員教授 千葉大学医学部客員教授	
		平成 9 年 1 月	日本グラクソ株式会社 (現: グラクソ・ スミスクライン株式会社) 筑波研究所分子生物研究部部長	
		平成 11 年 1 月	同社 筑波研究所遺伝子研究部部長	
		平成 12 年 1 月	北海道大学先端科学技術共同研究センタ ー客員教授	
		平成 12 年 2 月	株式会社メディビック (現: 株式会社メ ディビックグループ) 設立 代表取締役 社長 (現任)	
		平成 12 年 9 月	株式会社ジェネティックラボ代表取締役 社長	
		平成 14 年 4 月	同社非常勤取締役	
		平成 16 年 4 月	株式会社メディビック・アライアンス (現: 株式会社 Asia Private Equity Capital) 取締役 株式会社アドバンスト・メディカル・ゲ ートウェイ取締役	
		平成 17 年 4 月	Strand Life Sciences 取締役 (現任)	
		平成 18 年 3 月	株式会社メディビックファーマ 代表取締役社長 (現任)	
		平成 18 年 7 月	株式会社メディビック代表取締役社長 (現任)	

候補者 番号	氏名 (生年月日)	略歴、貴社における地位及び担当、 重要な兼職の状況		所有する貴社 株式の 数
		平成 20 年 10 月	株式会社 Asia Private Equity Capital 代表取締役社長（現任） 株式会社サイトクオリティー取締役	
		平成 22 年 7 月	同社代表取締役社長（現任）	
		平成 23 年 11 月	株式会社フォント・ホールディングス 社外監査役	

(注) 各候補者と貴社との間には特別の利害関係はありません。

(2) 提案理由

貴社グループは、ここ数年間売上高は2億円前後で推移し、純損失も2億円前後の赤字を繰返しており、売上高の不足は誰が見ても明らかです。貴社は、今まで新事業の創出に積極的に取り組むことなく不透明な経営に終始し、今も一向に黒字化の目途はついておりません。

これはひとえに、取締役社長である橋本氏ひとりの能力に過度に依存し、会社として組織だった経営が出来ない体制であるためであります。かかる問題の解決には、橋本氏に集中した権限を分散すべく積極的な人材登用を進め、経営会議機能の実効化と、綿密な調査・分析による明確な利益計画を基に、新たな事業への取り組みを実行していくことが必要です。

そこで、従来の血液や遺伝子の保管ばかりでなく、細胞保管に向けて神戸の検体保管設備の見直しと強化を図り、これからの日本の国策とも言える再生医療分野に貢献する新たな仕組みと経営戦略の下、「細胞バンク事業」を積極果敢に立ち上げ、新市場の創造と顧客ニーズの獲得にスピード感をもって取り組むことを提案致します。

具体的には、細胞培養設備を自社で保有し、培養と保管を両輪としたマーケティングを進め、血液や遺伝子、細胞を含めた幅広い「検体保管倉庫業」を事業のひとつの柱とする新事業の確立を目指し、再生医療の発展の一翼を担いたいと考えております。

また、ヒト医療ばかりでなく動物医療分野の再生医療事業にも進出し、新たな収益機会の創出に注力することも併せて提案したいと思います。

更に、貴社グループの知名度・信用を生かした医療機器やサプリメント、化粧品の国内外の製造・販売を推進し、迅速かつ戦略的な事業展開を新経営陣に行っていただきたいと考えております。

そのためには、豊富な上場会社経営の経験や医療分野への幅広い知見を有する小野稔氏、多くの企業の立上げ及び IPO コンサルティングを手掛けてきた三坂大作氏、事業開発や営業、企業経営の立て直しに豊富な経験と実績を有する疋田賢司氏を新取締役として選任することを提案するとともに、現取締役社長の橋本康弘氏にも引き続き

貴社の取締役としてご協力いただき、メディビック社にて行ってきた事業の選択と集中を進め、神戸の検体保管設備の維持と高品質化、高性能化をもって社業に尽力いただきたいと考えております。

2 監査役1名選任の件

(1) 提案の内容

次の候補者を監査役に選任する。

なお、当該候補者からは、監査役就任の内諾を得ております。

氏名 (生年月日)	略歴、貴社における地位及び担当、 重要な兼職の状況		所有する 貴社株式 の数
鈴木 啓祐 (昭和21年2月16日生)	昭和43年3月	日本大学理工学部卒業	0株
	昭和43年4月	鉄建建設株式会社入社	
	昭和49年10月	EU7カ国へプレストレストコンクリート・フレッシュ工法研究のため研修留学	
	昭和50年4月	岩手県一関市 東北新幹線磐井川 PC 橋梁工事現場代理人所長	
	昭和53年4月	福島県郡山市 東北新幹線逢瀬川 PC 橋梁工事現場代理人所長	
	昭和54年7月	国務大臣総理府総務庁長官 三原朝雄秘書	
	昭和55年1月	参議院議員斎藤栄三郎秘書	
	昭和55年7月	参議院議員斎藤栄三郎公設第一秘書	
	昭和61年7月	参議院全国区比例代表選挙斎藤栄三郎(3回目当選)選挙総括責任者	
	平成元年7月	国務大臣科学技術庁長官大臣秘書官	
	平成4年3月	独禁法研究協議会(現:競争法研究協会)設立 常務理事兼事務局長	
	平成4年7月	日本科学技術振興協会設立 専務理事 斎藤栄三郎総合研究所設立 所長 東京理科大学総合研究所客員研究員	
	平成12年11月	財団法人 内藤泰春科学技術振興財団設立 専務理事	
	平成18年4月	競争法研究協会 常務理事	
	平成23年4月	競争法研究協会 業務執行統轄理事(現任)	
	平成23年8月	一般財団法人 内藤泰春科学技術振興財団 業務執行理事(現任)	

(注) 1. 候補者と貴社との間には特別の利害関係はありません。

2. 鈴木啓祐氏は社外監査役候補者であります。
3. 同氏が選任されましたら、貴社定款の規定に基づき、会社法第427条第1項の規定により、貴社と同氏との間で、同法第423条第1項の賠償責任を限定する責任限定契約を締結いただく予定です。ただし、当該契約に基づく賠償責任限度額は、500万円以上であらかじめ定めた金額又は法令が定める額のいずれか高い額といたします。

(2) 提案理由

常勤の社外監査役である遠藤宏氏が本定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任することになります。

鈴木啓祐氏は、過去に会社経営に関与したことはありませんが、人格高潔な人柄で、政界における豊富な経験と多様な経歴に基づく幅広い知見を有しており、経営全般に対する適切な監視と有効な助言を期待できると考えております。そこで、遠藤宏氏に代わる常勤の社外監査役として、鈴木啓祐氏を監査役に選任することを提案する次第です。

以 上